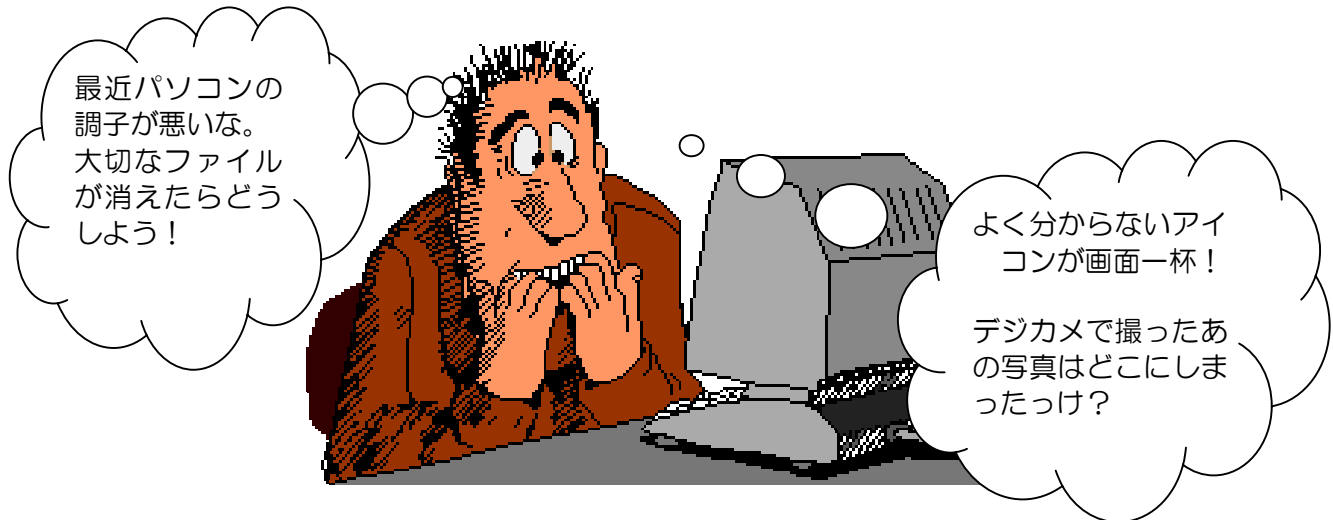


# めざせ！パソコン快適ライフ

第 27 回市民講座

## 『Windows 入門★ファイル整理編』



### ファイル整理★四つの技

- パソコンを書斎にするための  
ファイルとは？ コピーと移動ですっきり管理 ... **管理技**
- デジカメで撮った写真などの  
デジカメ画像・メール・インターネットを快適操作！ ... **整理技**
- ディスクが一杯になったら  
不要ファイルの削除 ディスクの最適化とは？ ... **掃除技**
- ドライブを増設してもっと快適に  
大切なファイルをバックアップしよう！ ... **便利技**

講師: 会員 大河原俊徳、川上 拓



情報ボランティアの会(八王子)

<http://www.ivh-jp.org>

ページ	内 容		
401	<p style="text-align: center;"><b>5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰け)</b>  <b>快適PCライフの極意(1)</b></p> <p style="text-align: center;">═══════════</p> <p><b>・パソコンのお手入れ・・・スッキリと整理して快適に使う！</b></p>		
402	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; vertical-align: top;"> <p>・デスクトップの整理</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>不要のアイコンは削除</b>(アイコンは消えてもソフトは残っているので安心)                             <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート]－[コントロールパネル]－[デスクトップの表示とテーマ]から画面を開きます。</li> <li>② [デスクトップ] タブで、[デスクトップのカスタマイズ] をクリックします。</li> <li>③ [デスクトップのクリーンアップ] の [デスクトップをクリーンアップする] をクリックします。</li> <li>④ デスクトップ クリーンアップ ウィザード] の指示に従って操作します。</li> <li>⑤ 個別にアイコンの削除もできます。</li> </ol> </li> <li>・ <b>スタートメニューの見直しでよく使うソフトをらくらく起動</b></li> <li>・ <b>「クイック起動」メニューを使う</b></li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>・デスクトップの整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>不要のアイコンは削除</b>(アイコンは消えてもソフトは残っているので安心)                             <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート]－[コントロールパネル]－[デスクトップの表示とテーマ]から画面を開きます。</li> <li>② [デスクトップ] タブで、[デスクトップのカスタマイズ] をクリックします。</li> <li>③ [デスクトップのクリーンアップ] の [デスクトップをクリーンアップする] をクリックします。</li> <li>④ デスクトップ クリーンアップ ウィザード] の指示に従って操作します。</li> <li>⑤ 個別にアイコンの削除もできます。</li> </ol> </li> <li>・ <b>スタートメニューの見直しでよく使うソフトをらくらく起動</b></li> <li>・ <b>「クイック起動」メニューを使う</b></li> </ul>
<p>・デスクトップの整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>不要のアイコンは削除</b>(アイコンは消えてもソフトは残っているので安心)                             <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート]－[コントロールパネル]－[デスクトップの表示とテーマ]から画面を開きます。</li> <li>② [デスクトップ] タブで、[デスクトップのカスタマイズ] をクリックします。</li> <li>③ [デスクトップのクリーンアップ] の [デスクトップをクリーンアップする] をクリックします。</li> <li>④ デスクトップ クリーンアップ ウィザード] の指示に従って操作します。</li> <li>⑤ 個別にアイコンの削除もできます。</li> </ol> </li> <li>・ <b>スタートメニューの見直しでよく使うソフトをらくらく起動</b></li> <li>・ <b>「クイック起動」メニューを使う</b></li> </ul>		
403	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; vertical-align: top;"> <p>・オートスタートソフトの整理</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>パソコン起動時、自動起動に設定されたソフトを見直す</b>                              自動起動のソフトが多いと、起動完了まで時間が掛かる。                             <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート]－[コントロールパネル]－[パフォーマンスとメンテナンス]－[タスク]をクリックするとスケジュール設定されたタスクを一覧できる。</li> <li>② 不要なソフトがあれば選択して左の作業メニューから削除を選んで実行させる。</li> </ol> </li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>・オートスタートソフトの整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>パソコン起動時、自動起動に設定されたソフトを見直す</b>                              自動起動のソフトが多いと、起動完了まで時間が掛かる。                             <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート]－[コントロールパネル]－[パフォーマンスとメンテナンス]－[タスク]をクリックするとスケジュール設定されたタスクを一覧できる。</li> <li>② 不要なソフトがあれば選択して左の作業メニューから削除を選んで実行させる。</li> </ol> </li> </ul>
<p>・オートスタートソフトの整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>パソコン起動時、自動起動に設定されたソフトを見直す</b>                              自動起動のソフトが多いと、起動完了まで時間が掛かる。                             <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート]－[コントロールパネル]－[パフォーマンスとメンテナンス]－[タスク]をクリックするとスケジュール設定されたタスクを一覧できる。</li> <li>② 不要なソフトがあれば選択して左の作業メニューから削除を選んで実行させる。</li> </ol> </li> </ul>		
404	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; vertical-align: top;"> <p>・電源の管理</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>電源管理によりスマートにパソコンを使いこなす。</b>                              [スタート]－[コントロールパネル]－[電源オプション]をクリックし、メニューから電源管理法、スタンバイや休止状態にする条件を設定できる。                             <ol style="list-style-type: none"> <li>① スタンバイモード                                      目安としては 1 時間程度ならこのモードで OK。                                      [スタート]－[終了オプション]で「スタンバイ」を選択</li> <li>② 休止モード                                      [スタート]－[終了オプション]－「Shift」を押しながら休止</li> </ol> </li> <li>・ <b>タスクバー上で右クリックし、タスクマネージャをクリックし、シャットダウン(メニューバーから)をクリック</b></li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>・電源の管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>電源管理によりスマートにパソコンを使いこなす。</b>                              [スタート]－[コントロールパネル]－[電源オプション]をクリックし、メニューから電源管理法、スタンバイや休止状態にする条件を設定できる。                             <ol style="list-style-type: none"> <li>① スタンバイモード                                      目安としては 1 時間程度ならこのモードで OK。                                      [スタート]－[終了オプション]で「スタンバイ」を選択</li> <li>② 休止モード                                      [スタート]－[終了オプション]－「Shift」を押しながら休止</li> </ol> </li> <li>・ <b>タスクバー上で右クリックし、タスクマネージャをクリックし、シャットダウン(メニューバーから)をクリック</b></li> </ul>
<p>・電源の管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>電源管理によりスマートにパソコンを使いこなす。</b>                              [スタート]－[コントロールパネル]－[電源オプション]をクリックし、メニューから電源管理法、スタンバイや休止状態にする条件を設定できる。                             <ol style="list-style-type: none"> <li>① スタンバイモード                                      目安としては 1 時間程度ならこのモードで OK。                                      [スタート]－[終了オプション]で「スタンバイ」を選択</li> <li>② 休止モード                                      [スタート]－[終了オプション]－「Shift」を押しながら休止</li> </ol> </li> <li>・ <b>タスクバー上で右クリックし、タスクマネージャをクリックし、シャットダウン(メニューバーから)をクリック</b></li> </ul>		
405	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; vertical-align: top;"> <p>・時刻を正確に</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>パソコンの時計を正確に合わせる。</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート]－[コントロールパネル]－[日付、時刻、地域と言語のオプション]をクリックし、メニューから「日付と時刻を変更する」を選択する。</li> <li>② 同期を有効にすると、コンピュータの時刻は 1 週間に 1 度インターネット タイム サーバーと同期がとられます。ただし、ケーブル モデムや ADSL モデムによる常時インターネット接続でない場合は、自動同期が行われない場合があります。                                      直ちに更新するには、コントロール パネルの日付と時刻の [インターネット時刻] タブで、[今すぐ更新] をクリックします。</li> </ol> </li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>・時刻を正確に</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>パソコンの時計を正確に合わせる。</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート]－[コントロールパネル]－[日付、時刻、地域と言語のオプション]をクリックし、メニューから「日付と時刻を変更する」を選択する。</li> <li>② 同期を有効にすると、コンピュータの時刻は 1 週間に 1 度インターネット タイム サーバーと同期がとられます。ただし、ケーブル モデムや ADSL モデムによる常時インターネット接続でない場合は、自動同期が行われない場合があります。                                      直ちに更新するには、コントロール パネルの日付と時刻の [インターネット時刻] タブで、[今すぐ更新] をクリックします。</li> </ol> </li> </ul>
<p>・時刻を正確に</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>パソコンの時計を正確に合わせる。</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート]－[コントロールパネル]－[日付、時刻、地域と言語のオプション]をクリックし、メニューから「日付と時刻を変更する」を選択する。</li> <li>② 同期を有効にすると、コンピュータの時刻は 1 週間に 1 度インターネット タイム サーバーと同期がとられます。ただし、ケーブル モデムや ADSL モデムによる常時インターネット接続でない場合は、自動同期が行われない場合があります。                                      直ちに更新するには、コントロール パネルの日付と時刻の [インターネット時刻] タブで、[今すぐ更新] をクリックします。</li> </ol> </li> </ul>		

ページ	内 容		
501	<p style="text-align: center;"><b>5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰け)</b>  <b>快適PCライフの極意(2)</b>                      =====</p> <p>・ディスクの整理、整頓・・・サクサク動くかも！</p>		
502	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; vertical-align: top;"> <p>・ファイルの圧縮・復元</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>ファイルの圧縮復元機能を使ってディスクを効率的に使おう。</b>                              WinXP には zip 形式によるファイルの圧縮が標準で付いている。これを利用すればファイルサイズは 60 ~ 70 % 程度に圧縮でき、その分、ディスクの占有率を下げることができる。                              圧縮するフォルダー・ファイルを選択、右クリックし操作メニューから「圧縮(zip 形式)フォルダー」を選択し、クリック。                              ② アプリケーションとの関連付けを聞いてくるので「OK」すれば自動的に圧縮が始まり、圧縮フォルダーのシンボルの付いた圧縮フォルダーができる。                              ③ 復元は圧縮フォルダーから復元したいフォルダーを選択し、右クリックし、復元を選択し、クリックする。復元の場所を聞いてくるので参照をクリックし、場所を指定し「OK」をクリック。                              ④ 元のファイルも残ることに注意する。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>・ファイルの圧縮・復元</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>ファイルの圧縮復元機能を使ってディスクを効率的に使おう。</b>                              WinXP には zip 形式によるファイルの圧縮が標準で付いている。これを利用すればファイルサイズは 60 ~ 70 % 程度に圧縮でき、その分、ディスクの占有率を下げることができる。                              圧縮するフォルダー・ファイルを選択、右クリックし操作メニューから「圧縮(zip 形式)フォルダー」を選択し、クリック。                              ② アプリケーションとの関連付けを聞いてくるので「OK」すれば自動的に圧縮が始まり、圧縮フォルダーのシンボルの付いた圧縮フォルダーができる。                              ③ 復元は圧縮フォルダーから復元したいフォルダーを選択し、右クリックし、復元を選択し、クリックする。復元の場所を聞いてくるので参照をクリックし、場所を指定し「OK」をクリック。                              ④ 元のファイルも残ることに注意する。</li> </ul>
<p>・ファイルの圧縮・復元</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>ファイルの圧縮復元機能を使ってディスクを効率的に使おう。</b>                              WinXP には zip 形式によるファイルの圧縮が標準で付いている。これを利用すればファイルサイズは 60 ~ 70 % 程度に圧縮でき、その分、ディスクの占有率を下げることができる。                              圧縮するフォルダー・ファイルを選択、右クリックし操作メニューから「圧縮(zip 形式)フォルダー」を選択し、クリック。                              ② アプリケーションとの関連付けを聞いてくるので「OK」すれば自動的に圧縮が始まり、圧縮フォルダーのシンボルの付いた圧縮フォルダーができる。                              ③ 復元は圧縮フォルダーから復元したいフォルダーを選択し、右クリックし、復元を選択し、クリックする。復元の場所を聞いてくるので参照をクリックし、場所を指定し「OK」をクリック。                              ④ 元のファイルも残ることに注意する。</li> </ul>		
503	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; vertical-align: top;"> <p>・ディスクのクリーンアップ</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>ディスクのクリーンアップ:</b>削除しても問題ないと判断されるファイルを検出して削除する作業。</li> <li>・ Win XP では[スタート]－[コントロールパネル]－[パフォーマンスとメンテナンス]－[ハードディスクの空き容量を増やす]をクリックして開始する。空き容量の計算(数分かかるかも)後、削除しても良いファイルを列挙してくれるので、削除しても問題なく、効果がありそうなものを選んで、クリーンアップを開始する。また、詳細オプションを選ぶと、ここから不要なプログラムについても選択してクリーンアップすることができる。</li> <li>・ この作業は設定により定期的にも実行させることもできる。                              [スタート]－[コントロールパネル]－[パフォーマンスとメンテナンス]－[タスク]から「スケジュールされたタスクの追加」を選択すると、ウィザードが立ち上がってくる。選択可能なアプリケーションの一覧から「ディスククリーンアップ」を選び、自動的に起動する周期、時間を設定する。周期は一般的には1～6ヶ月に1度位の頻度で十分。</li> <li>・ [スタート]－[プログラム]－[アクセサリ]－[システムツール]からでも開始できる。(XP 以前はこの方法だけ)</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>・ディスクのクリーンアップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>ディスクのクリーンアップ:</b>削除しても問題ないと判断されるファイルを検出して削除する作業。</li> <li>・ Win XP では[スタート]－[コントロールパネル]－[パフォーマンスとメンテナンス]－[ハードディスクの空き容量を増やす]をクリックして開始する。空き容量の計算(数分かかるかも)後、削除しても良いファイルを列挙してくれるので、削除しても問題なく、効果がありそうなものを選んで、クリーンアップを開始する。また、詳細オプションを選ぶと、ここから不要なプログラムについても選択してクリーンアップすることができる。</li> <li>・ この作業は設定により定期的にも実行させることもできる。                              [スタート]－[コントロールパネル]－[パフォーマンスとメンテナンス]－[タスク]から「スケジュールされたタスクの追加」を選択すると、ウィザードが立ち上がってくる。選択可能なアプリケーションの一覧から「ディスククリーンアップ」を選び、自動的に起動する周期、時間を設定する。周期は一般的には1～6ヶ月に1度位の頻度で十分。</li> <li>・ [スタート]－[プログラム]－[アクセサリ]－[システムツール]からでも開始できる。(XP 以前はこの方法だけ)</li> </ul>
<p>・ディスクのクリーンアップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>ディスクのクリーンアップ:</b>削除しても問題ないと判断されるファイルを検出して削除する作業。</li> <li>・ Win XP では[スタート]－[コントロールパネル]－[パフォーマンスとメンテナンス]－[ハードディスクの空き容量を増やす]をクリックして開始する。空き容量の計算(数分かかるかも)後、削除しても良いファイルを列挙してくれるので、削除しても問題なく、効果がありそうなものを選んで、クリーンアップを開始する。また、詳細オプションを選ぶと、ここから不要なプログラムについても選択してクリーンアップすることができる。</li> <li>・ この作業は設定により定期的にも実行させることもできる。                              [スタート]－[コントロールパネル]－[パフォーマンスとメンテナンス]－[タスク]から「スケジュールされたタスクの追加」を選択すると、ウィザードが立ち上がってくる。選択可能なアプリケーションの一覧から「ディスククリーンアップ」を選び、自動的に起動する周期、時間を設定する。周期は一般的には1～6ヶ月に1度位の頻度で十分。</li> <li>・ [スタート]－[プログラム]－[アクセサリ]－[システムツール]からでも開始できる。(XP 以前はこの方法だけ)</li> </ul>		
504	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; vertical-align: top;"> <p>・デフラグ</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Win XP では[スタート]－[コントロールパネル]－[パフォーマンスとメンテナンス]－[ハードディスクを整理してプログラムの実行を速くする]をクリックして開始する。ウィザードが立ち上がり、対象とするディスクの選択をし、最適化を「OK」すれば開始される。ただこの作業は長時間かかるので始めるタイミングには注意が必要である。1年に一度位の頻度でよい。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>・デフラグ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Win XP では[スタート]－[コントロールパネル]－[パフォーマンスとメンテナンス]－[ハードディスクを整理してプログラムの実行を速くする]をクリックして開始する。ウィザードが立ち上がり、対象とするディスクの選択をし、最適化を「OK」すれば開始される。ただこの作業は長時間かかるので始めるタイミングには注意が必要である。1年に一度位の頻度でよい。</li> </ul>
<p>・デフラグ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Win XP では[スタート]－[コントロールパネル]－[パフォーマンスとメンテナンス]－[ハードディスクを整理してプログラムの実行を速くする]をクリックして開始する。ウィザードが立ち上がり、対象とするディスクの選択をし、最適化を「OK」すれば開始される。ただこの作業は長時間かかるので始めるタイミングには注意が必要である。1年に一度位の頻度でよい。</li> </ul>		

ページ	内 容												
601	<p style="text-align: center;"><b>選択肢の広がる外部記憶装置と利用法</b>                      オリジナルCDを作る &amp; データのバックアップ &amp; ファイルの持ち歩き                      ≡≡≡≡≡ ≡≡≡≡≡ ≡≡≡≡≡ ≡≡≡≡≡ ≡≡≡≡≡</p> <p>・ <b>各種外部記憶装置の特長、使い分け</b></p>												
602	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">フロッピーディスク</td> <td>1.44MB、最も普及してきたが小容量・信頼性に若干不安がある。</td> </tr> <tr> <td>ZIP</td> <td>100/250/750MB</td> </tr> <tr> <td>MO</td> <td>640MB</td> </tr> <tr> <td>CD-R/RW</td> <td>650/700MB</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>4.75GB、2 種類の規格、CD-R/RW も取り扱い可能</td> </tr> <tr> <td>小型モバイルメモリー</td> <td>USB/PCMCIA インタフェースアダプター付きメモリー                      ・ デジカメ、ウォークマン、ボイスレコーダー、パソコンとの互換性もあり、急速に普及している                      ・ 16MB～512MB、GB 級もあり。</td> </tr> </table> <p>・ <b>記憶容量の大きな画像やビデオなどの情報は外部記憶媒体に保存</b></p>	フロッピーディスク	1.44MB、最も普及してきたが小容量・信頼性に若干不安がある。	ZIP	100/250/750MB	MO	640MB	CD-R/RW	650/700MB	DVD	4.75GB、2 種類の規格、CD-R/RW も取り扱い可能	小型モバイルメモリー	USB/PCMCIA インタフェースアダプター付きメモリー ・ デジカメ、ウォークマン、ボイスレコーダー、パソコンとの互換性もあり、急速に普及している ・ 16MB～512MB、GB 級もあり。
フロッピーディスク	1.44MB、最も普及してきたが小容量・信頼性に若干不安がある。												
ZIP	100/250/750MB												
MO	640MB												
CD-R/RW	650/700MB												
DVD	4.75GB、2 種類の規格、CD-R/RW も取り扱い可能												
小型モバイルメモリー	USB/PCMCIA インタフェースアダプター付きメモリー ・ デジカメ、ウォークマン、ボイスレコーダー、パソコンとの互換性もあり、急速に普及している ・ 16MB～512MB、GB 級もあり。												
603	<p>Win XP になってからはCDへの書き込み保存も他の外部記憶装置と類似の方法(少し複雑だが)で保存できる。</p> <p>1) <b>画像の場合</b>                      [マイピクチャー]、[マイミュージック]を開け、保存したいファイルを一括してフォルダーに集める。左側のメニューに「CD に保存する」というメニューが出てくるのでそれをクリック。                      ここで、新しいCDをトレイにセットすると、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 右下隅に「保存の準備ができたデータがあります」というバルーンが表示される。これをクリック。</li> <li>● 挿入したCDに対する処理方法を選択する画面が表示される。どれを選んでよいか判らない場合、</li> <li>● [マイコンピュータ]からCDを選ぶと、左側のメニューに「CD に書き込む」という表示が出てくるので、クリックすると書き込みウィザードが起動する。</li> </ul>												
604	<p>2) <b>通常のファイルの場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 保存したいファイルを整理したい単位でフォルダーにまとめる。</li> <li>● このフォルダーを移動する(元のフォルダーがなくなる)</li> <li>● このフォルダーをコピーする(元のフォルダーはなくなる)</li> <li>● 保存させるCDをセットし、マイコンピュータからCDを開く。</li> <li>● 左側のメニューに「CD に書き込む」という表示が出てくるので、クリックすると書き込みウィザードが起動する</li> <li>● 後は手順に従って進める</li> </ul>												
605	<p><b>「Win 98 の場合」</b>                      XP のような機能は備わっていないので市販のソフトやフリーソフトを入手して同様のことをやる必要がある。</p>												

ページ	内 容												
701	<p style="text-align: center;"><b>ダウンロードで世界が広がる</b>  <b>評価の高いフリーソフトを上手に利用</b></p> <p style="text-align: center;">=====</p> <p>・Web を探せば便利なソフトが沢山、無料や安価な価格で入手できる。</p>												
702	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="296 495 437 656">・フリーソフトとシェアウェア</td> <td data-bbox="437 495 1453 656"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーソフトとは; 著作権は作成者に。利用権は無料。</li> <li>・シェアウェアとは; 著作権は作成者に。利用権は有料。</li> <li>・探し方: 定評ある紹介サイト(<a href="#">窓の杜</a>、<a href="#">ベクター</a>)</li> <li>・一般的な探し方: <a href="#">検索ソフト</a>を入れておこう(ツールバーに常駐させる)</li> </ul> </td> </tr> </table>	・フリーソフトとシェアウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーソフトとは; 著作権は作成者に。利用権は無料。</li> <li>・シェアウェアとは; 著作権は作成者に。利用権は有料。</li> <li>・探し方: 定評ある紹介サイト(<a href="#">窓の杜</a>、<a href="#">ベクター</a>)</li> <li>・一般的な探し方: <a href="#">検索ソフト</a>を入れておこう(ツールバーに常駐させる)</li> </ul>										
・フリーソフトとシェアウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーソフトとは; 著作権は作成者に。利用権は無料。</li> <li>・シェアウェアとは; 著作権は作成者に。利用権は有料。</li> <li>・探し方: 定評ある紹介サイト(<a href="#">窓の杜</a>、<a href="#">ベクター</a>)</li> <li>・一般的な探し方: <a href="#">検索ソフト</a>を入れておこう(ツールバーに常駐させる)</li> </ul>												
703	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="296 669 437 902">・ダウンロードの仕方</td> <td data-bbox="437 669 1453 902"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圧縮・解凍ソフトは必需品</li> <li>Win XP 標準では zip 形式以外は扱えない。(圧縮・解凍にはいろいろな形式があるが、ポピュラーなのは zip と lzh 形式)</li> <li>・ダウンロード・利用方法を圧縮・解凍ソフト(+Lhaca)を例にして紹介。</li> <li>・圧縮は大きなファイルをメールに添付したい時、ディスク容量の節約したい時に使う。</li> </ul> </td> </tr> </table>	・ダウンロードの仕方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圧縮・解凍ソフトは必需品</li> <li>Win XP 標準では zip 形式以外は扱えない。(圧縮・解凍にはいろいろな形式があるが、ポピュラーなのは zip と lzh 形式)</li> <li>・ダウンロード・利用方法を圧縮・解凍ソフト(+Lhaca)を例にして紹介。</li> <li>・圧縮は大きなファイルをメールに添付したい時、ディスク容量の節約したい時に使う。</li> </ul>										
・ダウンロードの仕方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圧縮・解凍ソフトは必需品</li> <li>Win XP 標準では zip 形式以外は扱えない。(圧縮・解凍にはいろいろな形式があるが、ポピュラーなのは zip と lzh 形式)</li> <li>・ダウンロード・利用方法を圧縮・解凍ソフト(+Lhaca)を例にして紹介。</li> <li>・圧縮は大きなファイルをメールに添付したい時、ディスク容量の節約したい時に使う。</li> </ul>												
704	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="296 916 437 987">・解凍の仕方</td> <td data-bbox="437 916 1453 987"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己解凍型ソフトの場合</li> <li>・圧縮・解凍ソフトを使う場合</li> </ul> </td> </tr> </table>	・解凍の仕方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己解凍型ソフトの場合</li> <li>・圧縮・解凍ソフトを使う場合</li> </ul>										
・解凍の仕方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己解凍型ソフトの場合</li> <li>・圧縮・解凍ソフトを使う場合</li> </ul>												
705	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="296 1001 437 1122">・評価の高いフリーソフト</td> <td data-bbox="437 1001 1453 1122"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の高いフリーソフト(シェアウェア)を有効活用しよう! (判らないフリーソフトはインストールしない。用心! 用心!)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1122 826 1243">圧縮・解凍ソフト</td> <td data-bbox="826 1122 1453 1243"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ +Lhaca(使い易い。簡単インストール)</li> <li>・ Lhaca デラックス版、機能拡張版などのバリエーションがある。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1243 826 1413">エディタソフト</td> <td data-bbox="826 1243 1453 1413"> <p>「メモ帳」より便利でワードほど高度ではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秀丸(シェアウェア)</li> <li>・ TeraPad</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1413 826 1498">オフィスソフト</td> <td data-bbox="826 1413 1453 1498"> <p>MS 社の Office と互換性のある</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ OpenOffice</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1498 826 1583">インターネットブラウザ</td> <td data-bbox="826 1498 1453 1583"> <p>軽快に動くブラウザソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Opera</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="448 1583 826 1704">画像加工ソフト</td> <td data-bbox="826 1583 1453 1704"> <p>アマチュアが使うには十分な機能が無料で使える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Ttrim</li> </ul> </td> </tr> </table>	・評価の高いフリーソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の高いフリーソフト(シェアウェア)を有効活用しよう! (判らないフリーソフトはインストールしない。用心! 用心!)</li> </ul>	圧縮・解凍ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ +Lhaca(使い易い。簡単インストール)</li> <li>・ Lhaca デラックス版、機能拡張版などのバリエーションがある。</li> </ul>	エディタソフト	<p>「メモ帳」より便利でワードほど高度ではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秀丸(シェアウェア)</li> <li>・ TeraPad</li> </ul>	オフィスソフト	<p>MS 社の Office と互換性のある</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ OpenOffice</li> </ul>	インターネットブラウザ	<p>軽快に動くブラウザソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Opera</li> </ul>	画像加工ソフト	<p>アマチュアが使うには十分な機能が無料で使える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Ttrim</li> </ul>
・評価の高いフリーソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の高いフリーソフト(シェアウェア)を有効活用しよう! (判らないフリーソフトはインストールしない。用心! 用心!)</li> </ul>												
圧縮・解凍ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ +Lhaca(使い易い。簡単インストール)</li> <li>・ Lhaca デラックス版、機能拡張版などのバリエーションがある。</li> </ul>												
エディタソフト	<p>「メモ帳」より便利でワードほど高度ではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秀丸(シェアウェア)</li> <li>・ TeraPad</li> </ul>												
オフィスソフト	<p>MS 社の Office と互換性のある</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ OpenOffice</li> </ul>												
インターネットブラウザ	<p>軽快に動くブラウザソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Opera</li> </ul>												
画像加工ソフト	<p>アマチュアが使うには十分な機能が無料で使える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Ttrim</li> </ul>												

ページ	内 容
801	<p style="text-align: center;"><b>大事な情報はまとめて保存しておこう</b>                      パソコントラブルや乗換えに備えて</p> <p style="text-align: center;">=====</p>
802	<p>1. <b>トラブルに備えて、メールの控えを取っておきたい時や、新しいパソコンに移行する時には、バックアップを行う。</b>                      予め、バックアップ用のフォルダーを判り易いところ(例えば、デスクトップ)に用意しておく。</p> <p><b>(1) Outlook Express(OE) のメールのバックアップ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ OEのソフトで[ツール]ー[オプション]をクリックするとオプション画面が表示される。</li> <li>➤ ここで[オプション]タブをクリックし、「保存フォルダー」をクリックすると現在の保存場所が表示される。</li> <li>➤ 表示された保存場所のパスをコピーし、表示ボックスを閉じる。</li> <li>➤ [スタート]ー[ファイル名を指定して実行]をクリックし、表示されたダイアログボックスに上でコピーした保存場所を貼り付ける。</li> <li>➤ [OK]をクリックするとメールを保存しているフォルダーの内容が表示される。</li> <li>➤ 保存したいファイルを選択し、コピーし、予め用意しておいたバックアップ用のフォルダーに貼り付ける。フォルダー単位でバラバラにならないように注意する。</li> </ul>
803	<p><b>(2) アドレス帳のバックアップ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ OEソフトでアドレス帳を起動して置く。</li> <li>➤ [ファイル]ー[エクスポート]にマウスを合わせると次の選択メニューが出てくるので「アドレス帳」をクリックする。</li> <li>➤ 保存場所とファイル名を確認する画面が出てくるので予め用意してあるバックアップフォルダーを選び、ファイル名を入力し、保存をクリック。確認画面で保存先を確認してOK。</li> </ul>
804	<p><b>(3) 接続設定のバックアップ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ OEソフトで[ツール]ー[アカウント]をクリックするとインターネットアカウント画面が表示される。</li> <li>➤ バックアップしたいアカウントを選択し、右側の「エクスポート」ボタンをクリックする。</li> <li>➤ 予め用意してあるバックアップフォルダーを選び、ファイル名を入力し、保存。</li> </ul>
805	<p><b>(4) バックアップ済みファイルの復元</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ OEソフトを起動し、復元したいファイルに応じて、アドレス帳、アカウントを起動しておく。</li> <li>➤ 「インポート」ボタンを押す。「インポートするファイルの選択」画面が出てくるので、選択して「開く」をクリックすると、インポートが開始される。</li> </ul>
806	<p>2. <b>ウィザードによるフォルダ・ファイルのバックアップ</b>                      これ以外にも保存したい設定値が沢山あると思いますが、これらを個別にバックアップするにはレジストリーファイルと言われるファイル類などにアクセスする必要があり危険を伴いますので、お勧めできません。全体をバックアップするには [ファイルと設定の転送ウィザード] を使用すると、古いコンピュータのデータ ファイルと個人用設定を新しいコンピュータに移行でき、古いコンピュータで行った構成作業をほとんどやり直さずに済みます。たとえば、個人用の表示プロパティ、フォルダとタスク バーのオプション、およびインターネット ブラウザとメールの設定を古いコンピュータか</p>

ら新しいコンピュータに移行することができます。このウィザードでは、特定のファイルや、マイ ドキュメント、マイ ピクチャ、お気に入りなどのフォルダ全体を移動することもできます。

[ファイルと設定の転送ウィザード] を開くには、[スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]、[アクセサリ]、[システム ツール] の順にポイントし、[ファイルと設定の転送ウィザード] をクリックします。

しかし、保存されるデータが大変多くなるため、時間とCDなどの適切な保存媒体を予め準備しておくことが大切です。

807

3. 大容量外部記憶装置(DVD)などを持っている場合にはディスクのすべてのデータを一括保存する方法も現実的になってきている。

808

4. HTML形式でメールを作成しないように設定するには

- OEは最初にインストールされているときはHTML形式で記述したり、表示したりするようになっています。

- この結果、背景に色をつけたり、画像を貼り付けたり、アニメーションを貼り付けたりして楽しいメールの交換ができます。

友人同士では楽しいのですが、時には他人からHTML形式のメールを送られる場合があります。逆に始めての人にメールを送る場合もあります。

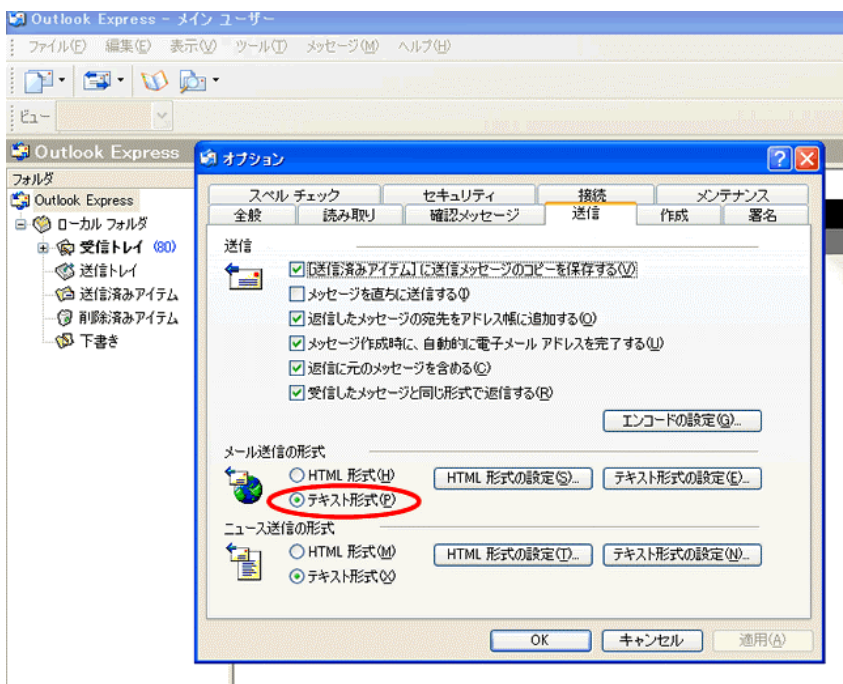
- セキュリティの上で問題があること、メールのサイズが大きくなり受信に時間が掛かるといった点で問題があります。


相手が了解している場合を除き、現状では「テキスト形式」でメールの送信をやるようにしましょう。

- メール送信形式を変更するには

- ① OEを開き、[ツール]-[オプション]をクリックする。

- ② オプション画面の「送信」タブをクリックし、「メール送信の形式」で「テキスト形式」を選択し、「OK」をクリックする。



ページ	内 容																																										
901	<p style="text-align: center;"><b>あなたはキーボード派、それともマウス派？ ……便利わざ</b></p> <p style="text-align: center;">テキパキ操作で時間の節約！</p> <p style="text-align: center;">=====</p> <p><b>[基本として覚えておきたいショートカットキー]</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>[CTRL]+[X]</td><td>カット</td></tr> <tr><td>[CTRL]+[C]</td><td>コピー</td></tr> <tr><td>[CTRL]+[V]</td><td>貼り付け</td></tr> <tr><td>[CTRL]+[A]</td><td>すべて選択</td></tr> <tr><td>[CTRL]+[Z]</td><td>取り消し</td></tr> <tr><td>[CTRL]+[P]</td><td>印刷</td></tr> </table> <p><b>[日本語入力時のショートカットキー]</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>[F6]</td><td>ひらがな変換</td></tr> <tr><td>[F7]</td><td>全角カタカナ</td></tr> <tr><td>[F8]</td><td>半角変換</td></tr> <tr><td>[F9]</td><td>全角英数変換</td></tr> <tr><td>[F10]</td><td>半角英数変換</td></tr> </table> <p><b>[Windows 全般]</b> </p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>[Windows]</td><td>スタートメニューを表示</td></tr> <tr><td>[Windows]+[F]</td><td>ファイル検索</td></tr> <tr><td>[Windows]+[R]</td><td>ファイル名を指定して実行</td></tr> <tr><td>[Windows]+[E]</td><td>エクスプローラ風にマイコンピュータを開く</td></tr> <tr><td>[Windows]+[D]</td><td>デスクトップの表示 / 非表示</td></tr> </table> <p><b>[ダイアログボックスで使えるショートカットキー]</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>[ESC]</td><td>キャンセル</td></tr> <tr><td>Enter]</td><td>決定</td></tr> <tr><td>[TAB]</td><td>次の項目へ移動</td></tr> <tr><td>[SHIFT]+[TAB]</td><td>前の項目へ移動</td></tr> <tr><td>[SPACE]</td><td>チェックボックスのオン、オフ切り替え</td></tr> </table>	[CTRL]+[X]	カット	[CTRL]+[C]	コピー	[CTRL]+[V]	貼り付け	[CTRL]+[A]	すべて選択	[CTRL]+[Z]	取り消し	[CTRL]+[P]	印刷	[F6]	ひらがな変換	[F7]	全角カタカナ	[F8]	半角変換	[F9]	全角英数変換	[F10]	半角英数変換	[Windows]	スタートメニューを表示	[Windows]+[F]	ファイル検索	[Windows]+[R]	ファイル名を指定して実行	[Windows]+[E]	エクスプローラ風にマイコンピュータを開く	[Windows]+[D]	デスクトップの表示 / 非表示	[ESC]	キャンセル	Enter]	決定	[TAB]	次の項目へ移動	[SHIFT]+[TAB]	前の項目へ移動	[SPACE]	チェックボックスのオン、オフ切り替え
[CTRL]+[X]	カット																																										
[CTRL]+[C]	コピー																																										
[CTRL]+[V]	貼り付け																																										
[CTRL]+[A]	すべて選択																																										
[CTRL]+[Z]	取り消し																																										
[CTRL]+[P]	印刷																																										
[F6]	ひらがな変換																																										
[F7]	全角カタカナ																																										
[F8]	半角変換																																										
[F9]	全角英数変換																																										
[F10]	半角英数変換																																										
[Windows]	スタートメニューを表示																																										
[Windows]+[F]	ファイル検索																																										
[Windows]+[R]	ファイル名を指定して実行																																										
[Windows]+[E]	エクスプローラ風にマイコンピュータを開く																																										
[Windows]+[D]	デスクトップの表示 / 非表示																																										
[ESC]	キャンセル																																										
Enter]	決定																																										
[TAB]	次の項目へ移動																																										
[SHIFT]+[TAB]	前の項目へ移動																																										
[SPACE]	チェックボックスのオン、オフ切り替え																																										

ページ	内 容														
Appendix 1	<p style="text-align: center;"><b>(付録1) ウィルス対策</b></p> <p style="text-align: center;">=====</p> <p><b>・ウィルスに感染しないための対処法</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">1.</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>対策ソフトを購入、インストールする。</b> 代表的なソフト(Norton Internet Security、VirusBaster、McAfee) オンライン登録し、最新のファイルをダウンロードする。ファイルの自動更新に設定しておく。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2.</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Windows Update で OS、IE、OE を最新版にしておく。</b> 時間が掛かるので、作業に取り掛かる場合注意のこと メーカーからウィルス駆除ソフトも含めた CD が無料で配布されているので利用すると良い。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3.</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知っている人からのメールでも、不審なタイトル、拡張子のついた添付ファイルは絶対に開かない。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4.</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Outlook Express の安全性を高める。</b> ①[表示]-[レイアウト]を開き、「プレビューウインドウを表示する」のチェックをはずし、[OK]をクリックする。</li> <li>・ Outlook Express のセキュリティの設定をチェックする。 ②[ツール]-[オプション]-[セキュリティ]を開く。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 「他のアプリケーションが私の名前でメールを送信しようとしたら警告する」にチェックが入っているかどうか、確認する。</li> <li>➢ 「ウィルスの可能性がある添付ファイルを保存したり開いたりしない」にチェックを付ける。</li> <li>➢ [OK]をクリックする。</li> </ul> </li> </ul> </td> </tr> </table> <p><b>・もしウィルスに感染したら、どうする！？</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">1.</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対策ソフトが入っていて、ウィルス定義ファイル情報が入っている場合、対策ソフトはウィルスを発見し、隔離してくれる。</li> <li>・ 対策ソフトの画面の指示に従って削除したり、ウィルスを駆除してファイルを復旧させるか、します。 一般的には削除をお勧めします。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2.</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対策ソフトのウィルス定義ファイル情報にない最新ウィルスに不幸にしてかかった場合、被害を自分以外に拡げず、最小限に止めるため、<b>直ちにネットワーク機器へ繋がっているケーブルを外してください。</b></li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3.</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別のパソコンから、(もし、なければ)知人から最新のウィルス駆除ソフトをダウンロードしてもらい、駆除する。また、再度ウィルス対策ソフトでパソコン全体を完全スキャンし、ウィルスに汚染されていないかどうかチェックしてください。最新ウィルスパターンファイルにアップデートすることもお忘れなく！</li> </ul> </td> </tr> </table> <p><b>・もしウィルス対策ソフトを入れてなくて感染したら・・・！？</b>  <b>即、パソコンショップに行って、対策ソフトを購入し、上記のような処置をしてください。</b>  <b>・ パターンファイルの更新はメーカーからの通知に従って、忘れずやること。</b></p>	1.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>対策ソフトを購入、インストールする。</b> 代表的なソフト(Norton Internet Security、VirusBaster、McAfee) オンライン登録し、最新のファイルをダウンロードする。ファイルの自動更新に設定しておく。</li> </ul>	2.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Windows Update で OS、IE、OE を最新版にしておく。</b> 時間が掛かるので、作業に取り掛かる場合注意のこと メーカーからウィルス駆除ソフトも含めた CD が無料で配布されているので利用すると良い。</li> </ul>	3.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知っている人からのメールでも、不審なタイトル、拡張子のついた添付ファイルは絶対に開かない。</li> </ul>	4.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Outlook Express の安全性を高める。</b> ①[表示]-[レイアウト]を開き、「プレビューウインドウを表示する」のチェックをはずし、[OK]をクリックする。</li> <li>・ Outlook Express のセキュリティの設定をチェックする。 ②[ツール]-[オプション]-[セキュリティ]を開く。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 「他のアプリケーションが私の名前でメールを送信しようとしたら警告する」にチェックが入っているかどうか、確認する。</li> <li>➢ 「ウィルスの可能性がある添付ファイルを保存したり開いたりしない」にチェックを付ける。</li> <li>➢ [OK]をクリックする。</li> </ul> </li> </ul>	1.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対策ソフトが入っていて、ウィルス定義ファイル情報が入っている場合、対策ソフトはウィルスを発見し、隔離してくれる。</li> <li>・ 対策ソフトの画面の指示に従って削除したり、ウィルスを駆除してファイルを復旧させるか、します。 一般的には削除をお勧めします。</li> </ul>	2.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対策ソフトのウィルス定義ファイル情報にない最新ウィルスに不幸にしてかかった場合、被害を自分以外に拡げず、最小限に止めるため、<b>直ちにネットワーク機器へ繋がっているケーブルを外してください。</b></li> </ul>	3.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別のパソコンから、(もし、なければ)知人から最新のウィルス駆除ソフトをダウンロードしてもらい、駆除する。また、再度ウィルス対策ソフトでパソコン全体を完全スキャンし、ウィルスに汚染されていないかどうかチェックしてください。最新ウィルスパターンファイルにアップデートすることもお忘れなく！</li> </ul>
1.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>対策ソフトを購入、インストールする。</b> 代表的なソフト(Norton Internet Security、VirusBaster、McAfee) オンライン登録し、最新のファイルをダウンロードする。ファイルの自動更新に設定しておく。</li> </ul>														
2.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Windows Update で OS、IE、OE を最新版にしておく。</b> 時間が掛かるので、作業に取り掛かる場合注意のこと メーカーからウィルス駆除ソフトも含めた CD が無料で配布されているので利用すると良い。</li> </ul>														
3.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知っている人からのメールでも、不審なタイトル、拡張子のついた添付ファイルは絶対に開かない。</li> </ul>														
4.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Outlook Express の安全性を高める。</b> ①[表示]-[レイアウト]を開き、「プレビューウインドウを表示する」のチェックをはずし、[OK]をクリックする。</li> <li>・ Outlook Express のセキュリティの設定をチェックする。 ②[ツール]-[オプション]-[セキュリティ]を開く。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 「他のアプリケーションが私の名前でメールを送信しようとしたら警告する」にチェックが入っているかどうか、確認する。</li> <li>➢ 「ウィルスの可能性がある添付ファイルを保存したり開いたりしない」にチェックを付ける。</li> <li>➢ [OK]をクリックする。</li> </ul> </li> </ul>														
1.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対策ソフトが入っていて、ウィルス定義ファイル情報が入っている場合、対策ソフトはウィルスを発見し、隔離してくれる。</li> <li>・ 対策ソフトの画面の指示に従って削除したり、ウィルスを駆除してファイルを復旧させるか、します。 一般的には削除をお勧めします。</li> </ul>														
2.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対策ソフトのウィルス定義ファイル情報にない最新ウィルスに不幸にしてかかった場合、被害を自分以外に拡げず、最小限に止めるため、<b>直ちにネットワーク機器へ繋がっているケーブルを外してください。</b></li> </ul>														
3.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別のパソコンから、(もし、なければ)知人から最新のウィルス駆除ソフトをダウンロードしてもらい、駆除する。また、再度ウィルス対策ソフトでパソコン全体を完全スキャンし、ウィルスに汚染されていないかどうかチェックしてください。最新ウィルスパターンファイルにアップデートすることもお忘れなく！</li> </ul>														

ページ	内 容
Appendix 2	<p style="text-align: center;">(付録2)講座で使われたリンク先一覧 =====</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検索ソフト <ul style="list-style-type: none"> <li>Google : <a href="http://www.google.co.jp/">http://www.google.co.jp/</a></li> </ul> </li> <li>フリーウェア、シェアウェアの探し方 <ul style="list-style-type: none"> <li>窓の杜 : <a href="http://www.forest.impress.co.jp/">http://www.forest.impress.co.jp/</a></li> <li>ベクター : <a href="http://www.forest.impress.co.jp/">http://www.forest.impress.co.jp/</a></li> </ul> </li> <li>・ フリーウェア、シェアウェアのダウンロードサイト <ul style="list-style-type: none"> <li>+Lhaca : <a href="http://www.forest.impress.co.jp/library/pluslhaca.html">http://www.forest.impress.co.jp/library/pluslhaca.html</a></li> <li>Lhaca機能拡張版 : <a href="http://www.vector.co.jp/soft/win95/util/se166148.html">http://www.vector.co.jp/soft/win95/util/se166148.html</a></li> <li>Lhacaデラックス版 : <a href="http://www.vector.co.jp/soft/win95/util/se166893.html">http://www.vector.co.jp/soft/win95/util/se166893.html</a></li> <li>秀丸エディター :: <a href="http://www.forest.impress.co.jp/library/hidemaru.html">http://www.forest.impress.co.jp/library/hidemaru.html</a></li> <li>TeraPad :: <a href="http://www.forest.impress.co.jp/library/terapad.html">http://www.forest.impress.co.jp/library/terapad.html</a></li> <li>Jtrim : <a href="http://www.woodybells.com/jtrim.html">http://www.woodybells.com/jtrim.html</a></li> <li>OpenOffice :: <a href="http://ja.openoffice.org/start/">http://ja.openoffice.org/start/</a></li> <li>Opera : <a href="http://www.jp.opera.com/">http://www.jp.opera.com/</a></li> <li>DiskMirroringTool : <a href="http://www5.wisnet.ne.jp/~mercury/dmt/download.html">http://www5.wisnet.ne.jp/~mercury/dmt/download.html</a></li> </ul> </li> </ul>

ページ	内 容	メモ欄
END	<p style="text-align: center;"><b>後半のまとめ</b></p> <p style="text-align: center;">=====</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パソコンライフで快適・気持ちが良いって、どんな時？</li> <li>・ どこかで聞いたなあ・・・ 5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰け)こそ快適PCライフの極意</li> <li>・ ダウンロードと解凍・圧縮で世界が広がる 評価の高いフリーソフトを上手に利用</li> <li>・ パソコントラブルや乗換えに備えて大事な情報はまとめて保存しておこう。</li> <li>・ あなたはキーボード派、それともマウス派？</li> <li>・ ウィルス対策は万全に！ Windows のUpdate もこまめに！</li> </ul>	

Windows XP をお持ちの方は次のようにして繰り返し自習することをお奨めします。  
 [スタート]ー[ヘルプとサポート]を開き、Windows XP の新機能をクリックする。  
 「ツアーとチュートリアル」の「概要:Windows XPホームエディションへようこそ」

